

きょう この家に救いが来た

ルカの福音書19章 1-10節

- 1 さて、イエスはエリコにはいって、その町をお通りになった。
- 2 ところが、そこにザアカイという名の人^ながいた。
この人は取税人^{しゅぜいにん}のかしらで、金持ち^{かねも}であった。
- 3 かれは、イエスがどんな人^{ひと}か見たい^みと思っていたが、
背^せが低^{ひく}かったので、群衆^{ぐんしゅう}にさえぎられて見る^みことができなかつた。
- 4 それでイエスを見る^みために、前^{まえ}の方^{ほう}に走^{はし}って行^いって、
いちじくぐわの木^きに登^{のぼ}った。そこを通^{とお}られるところ^{ところ}だったからである。
- 5 イエスは、その場所^{ばしょ}にこられたとき、上^{うへ}を見あげて言^いわれた、
「ザアカイよ、急^{いそ}いでおりてきなさい。
きょう、あなたの家^{いえ}にとまることにしているから」。
- 6 そこでザアカイは急^{いそ}いでおりてきて、よろこんでイエスを迎^{むか}え入^いれた。
- 7 人々はみな、これを見^みてつぶやき、
「かれは罪人^{つみびと}の家^{いえ}にはいって客^{きやく}となつた」と言^いった。
- 8 ザアカイは立^たって主^{しゅ}に言^いった、
「主よ、わたしはちかつて自分^{じぶん}の財産^{ざいさん}の半分^{はんぶん}を貧民^{ひんみん}にほどこします。
また、もしだれかから不正^{ふせい}な取立^{とりた}てをしていましたら、
それを四倍^{よんばい}にして返^{かえ}します」。
- 9 イエスはかれに言^いわれた、
「きょう、救^{すく}いがこの家^{いえ}にきた。この人^{ひと}もアブラハムの子^こなのだから。
- 10 人^{ひと}の子^こがきたのは、失^{うしな}われたものをたずね出^だして救^{すく}うためである」。

今日のお話の題は、「今日、この家に救いが来た」です。

聖書の中には、たくさんの奇跡のことが書かれています。海がふたつに分かれて、

人々が乾いた海底を歩いたことや、38年間、寝たきりだった人の病気が治ったり、目の見えないが見えるようになったり、嵐の海がイエスさまの一言で静まったり……。え、そんなことがあるの？まさかと、疑う人もあるかと思います。しかし、聖書は、起こった事をありのままに書いた書物です。本当に起こった事を書いているのです。

私は、このザアカイの出来事を読む時、海が二つに分かれること、病気がいやされ、見えない人の目が開かれ、嵐の海が静まることは、起こって当然だろうと思うのです。それは、ザアカイの家では、もっと驚くべき奇跡が行われていたからです。第一の奇跡は、イエスさまがザアカイの家の客となったことです。

7人々はみな、これを見^みてつぶやき、
「かれは罪人^{つみびと}の家^{いえ}にはいつて客^{きやく}となった」と言った。

エリコの町の人々は、イエスさまが、ザアカイのようなよく深い、卑劣な人の家の客になるなんてことは、あり得ないことだったのです。ところが、イエスさまは喜んで彼の家の客となったのです。イエスさまにとって、ザアカイも決して失われてはならない、大切な神さまの子どもであったのです。イエスさまは、ザアカイの家に入り、そこで食事を共にされたのです。

第二のことは、ザアカイがイエスさまに約束したことです。

8 ザアカイは立^たって主^{しゅ}に言^いった、
「主よ、わたしはちか^{じぶん}って自^{ざい}分の財^{ざい}産^{さん}の半^{はん}分^{ぶん}を貧^{ひん}民^{みん}にほどこします。
また、もしだれかから不正^{ふせい}な取^{とり}立^たてを^せして^いましたら、
それを四^{よん}倍^{ばい}にして返^{かえ}します」。

取税人だったザアカイは人に嫌われ、見下げられていました。それで、ザアカイはお金の亡者になったのです。裏切らない、本当に信用できるものはお金しかない。お金にしがみついていたのです。ところが、イエスさまがザアカイの家に来てくださって、ザアカイの心は開かれたのです。ザアカイは自分からすすんで、持っている財産の半分を貧しい人に施し、不正をして余分に取り立てたお金は4倍にして返すと、信じがたいことを約束し、行動したのです。

「今日、救いがこの家に来た」。ザアカイの家に、そして彼の心に救いが届いたのです。

私たちの家にも、私たちの心にも、この救いが、きっと届かないはずはありません。